

編集後記

今年の 10 月号では特集として「高次脳機能障害」を取り上げた。これが私の「精神医学」誌編集委員としての最後の特集企画になったが、読者からも「高次脳機能障害」の特集の希望が結構あったのでこれを取り上げることにした。私はこの領域の専門家ではないので躊躇したが、熊本大学の池田学先生にも相談して、テーマと執筆者を選ばせていただいた。「精神医学」の特集であるので、できるだけ精神医学系の先生方に執筆していただくのがよいと思ったのではあるが、精神科でこの領域を専門としていて執筆いただけそうな先生は思ったより少ないことに気づいた。したがって、執筆をお願いした先生方には偏りを避けられなかったことと、精神科領域では適当な方が思い当たらないため精神科以外の先生方にも登場していただく結果となったことをお断りしたい。しかし、全体としては、その道の専門家に執筆していただき、まずまずの特集になったのではないと思う。

昔の「大脳病理学 Gehirnpathologie」から現在使用されている「神経心理学 Neuropsychology」への名称の変更がなされ、さらに広義の「高次脳機能障害」という用語が現れ、それも科学的な意味合いで使用される場合と行政的な意味合いで使用される場合とでは、その内容も英文名も異なるようである。その辺の状況については、森悦朗先生の論文にも記載されている。

それはともかく、この特集で取り上げた内容にも偏りがあることもお断りしておきたい。高次脳機能障害で対象となる範囲は非常に広いので、それらをすべて取り上げるわけにもいかず、もっぱら私の関心の高いものを中心になったことをお許しいただきたい。私の最も関心の高い「認知症」ももちろん高次脳機能障害であるが、一般には認知症は狭義の「高次脳機能障害」には含まれないようである。

私が長年主治医をしているくも膜下出血術後後遺症の 2 人の患者さんはまさに狭義の高次脳機能障害を示しているが、一見したところ障害があるようには見えないため、高次脳機能障害のリハビリテーションや就職斡旋にもなかなか対応してもらえず、患者グループに参加しても重度障害者が主体でそれにはなじまないため、日常生活上苦勞しているのが現状である。こういう人たちにも行政の手が差し伸べられることを期待したい。(K.K.)

■ 編集委員

朝田 隆
飯森真喜雄
井上 新平
小島 卓也
小阪 憲司
松本 英夫
松岡 洋夫
三國 雅彦
(ABC 順)

精神医学 (第 52 巻 第 10 号)

2010 年 10 月 15 日号 (毎月 1 回 15 日発行)

1 部定価 2,625 円 (本体 2,500 円 + 税 5 %)

2010 年年きめ予約購読料 30,600 円・電子ジャーナル閲覧オプション付 39,800 円 (税込, 送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 編集室直通 (03) 3817-5711 (担当) 三由・山崎

Fax (03) 3815-7802

E-mail seishinigaku@igaku-shoin.co.jp

URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/seishin/>

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込 (株) ハイブリッジエージェンシー

電話 (03) 3814-0089

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は(株)医学書院が保有します。

・ **JCOPY** (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3515-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。